I-O DATA

LAN DISK Restore 取扱説明書

「LAN DISK Restore」は、対応機器の各種設定情報を設定ファイルとして保存し、保存した設定ファイルから、LAN DISK シリーズに対して設定の移行をおこなうことができます。複数の LAN DISK シリーズ装置導入時や大容量モデルへの移行の際の初期設定を簡単にします。

※「LAN DISK Restore」インストール時に「Microsoft .NET Framework 2.0」が同時にインストールされます。

対応 LAN DISK

（設定復元に対応）

・HDL-H シリーズ
・HDL-XV シリーズ（HDL-XVLP シリーズを含む）
・HDL-XV/2D シリーズ
・HDL-XR シリーズ
・HDL-XR/2D シリーズ
・HDL-XR2U シリーズ

（設定保存に対応）

・HDL-H シリーズ
・HDL-XV シリーズ（HDL-XVLP シリーズを含む）
・HDL-XV/2D シリーズ
・HDL-XR シリーズ
・HDL-XR/2D シリーズ
・HDL-XR2U シリーズ

(インポートに対応）

・HDL-GT シリーズ※1
・HDL-GTR シリーズ※1
・HDL-GTR2U シリーズ※1

※ 1 ファームウェアバージョン 1.31 以降

ご注意

● HDL-H シリーズ　⇔　HDL-XR、HDL-XV シリーズ間での復元には対応していません。
● HDL-H シリーズへのインポートには対応していません。

20140106
(C) I-O DATA DEVICE, INC.

対応 OS

「LAN DISK Restore」は、以下の OS に対応しています。

- Windows 8.1（64 ビット版 /32 ビット版）
- Windows 8（64 ビット版 /32 ビット版）
- Windows 7（64 ビット版 /32 ビット版）
- Windows Vista（64 ビット版 /32 ビット版）
- Windows XP（32 ビット版）
- Windows Server 2012 R2※1
- Windows Server 2012※1
- Windows Server 2008 R2※2
- Windows Server 2008※2
- Windows Server 2003 R2※3
- Windows Server 2003※3※4

※ 1 フルインストールのみ対応しています。
※ 2 Standard/Enterprise のみ対応しています。Server Core モードには対応していません。
※ 3 Standard(32 ビット版）/Enterprise（32 ビット版）のみ対応しています。
※ 4 SP1 以降より対応しています。

HDL-XR/2D シリーズをお使いの場合

HDL-XR/2D、HDL-XV/2D シリーズへの復元時は、RAID モード設定は復元されません。

また、HDL-XR/2D、HDL-XV/2D への復元時に、復元オプションでモード指定した場合も同様に RAID モードは変更されません。

復元元→復元先	RAID モード設定	それ以外の設定
HDL-XR/2D、HDL-XV/2D ↓ HDL-XR/2D、HDL-XV/2D	復元されません。	復元されます。
HDL-XR/2D、HDL-XV/2D ↓ HDL-XR、HDL-XV	HDL-XR/2D、HDL-XV/2D が RAID0 の場合は、RAID0 で復元されます。 それ以外のモードでは復元されません。	復元されます。
HDL-XR、HDL-XV ↓ HDL-XR/2D、HDL-XV/2D	復元されません。	復元されます。

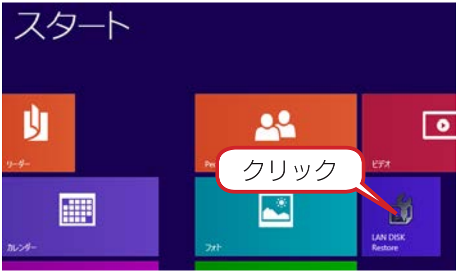
起動方法

起動方法は、ご使用の OS により異なります。

● Windows 8、8.1 の場合

［スタート］画面の [LAN DISK Restore] をクリックします。

※ [スタート] 画面に [LAN DISK Restore] がピン留めされていない場合は、[アプリ] 画面の [I-O DATA] カテゴリーの [LAN DISK Restore] をスタート画面にピン留めしてください。



● Windows 8、8.1 以外の場合

［スタート］メニュー→［(すべての）プログラム］→［I-O DATA］→［LAN DISK Tools］→［Restore］→［LAN DISK Restore］の順にクリックします。

画面のリファレンス

「LAN DISK Restore」を起動後に、検索アイコンをクリックすると、同一ネットワーク上の対応 LAN DISK をメインウィンドウに表示します。

LAN DISK の名前	LAN DISK の名前が表示されます。
プロダクト名	製品型番が表示されます。
F/W	製品のファームウェアバージョンが表示されます。

アイコン	内容
	同一ネットワーク内にある対応 LAN DISK を自動で検索します。検索中は［中止］ボタンに変わります。［中止］アイコンをクリックすることで､検索を中止できます。検索 / 中止には数十秒かかる場合もあります。 ●ご注意 検索できる範囲は同一ネットワーク内のみです。また、LAN DISK には DHCP による IP アドレスが割り当てられているか、固定で IP アドレスが設定されている必要があります。
	リストで選択されている機器の情報を表示します。
	リストで選択されている機器の設定情報を保存することができます。保存時には LAN DISK シリーズの管理者パスワードが必要になります。また、設定ファイルにはパスワードロックを設定することができます。 詳しくは【対応 LAN DISK（設定保存に対応）の設定を保存する】（次ページ）をご覧ください。
	LAN DISK シリーズ以外の機器の設定情報を LAN DISK シリーズ設定用に保存することができます。 保存時にはインポート元の管理者パスワードが必要になります。 また、設定ファイルにはパスワードロックを設定することができます。 詳しくは【対応 LAN DISK（インポートに対応）の設定を保存する】（7 ページ）をご覧ください。
	リストで選択されている機器に設定情報を復元することができます。 復元時には LAN DISK の管理者パスワードが必要になります。設定ファイルにパスワードロックが設定されている場合は、設定保存時に設定したパスワードが必要です。 詳しくは【設定情報を復元する】（9 ページ）をご覧ください。
	リストで選択されている機器にフォルダー単位でデータ移行することができます。 データ移行元フォルダーと同じ名前の共有フォルダーがデータ移行先の LAN DISK シリーズにあらかじめ作成されている必要があります。 詳しくは【データを移行する】（14 ページ）をご覧ください。

対応 LAN DISK（設定保存に対応）の設定を保存する

1.

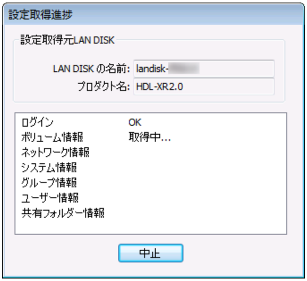
アイコンをクリックし同一ネットワーク内にある対応 LAN DISK シリーズを検索します。

2. 設定保存する対応 LAN DISK シリーズをリストから選び、[設定保存] アイコンをクリックします。

3. 対応 LAN DISK シリーズの管理者パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

4. 設定情報の取得を行っています。しばらくお待ちください。

※ [中止] ボタンをクリックすると、中止できます。

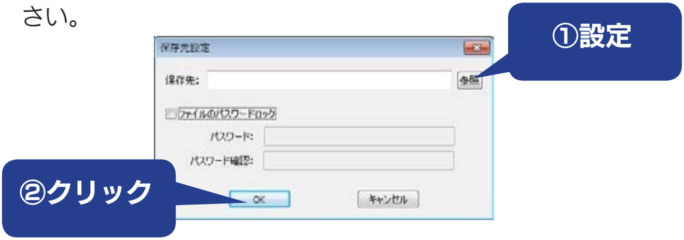


5. 設定情報の取得に成功すると、[保存先設定] 画面が開きます。

保存先を指定し、[OK] ボタンをクリックします。

[ファイルのパスワードロック] にチェックをつけると、ファイルロックパスワードを設定できます。

※ファイルロックパスワードは、4 ～ 15 文字以内で設定してください。



これで設定の保存は完了です。

対応 LAN DISK (インポートに対応) の設定を保存する

1.

アイコンをクリックします。

2. 以下の設定をします。

①[対象機器] で、インポートを行う機器を選択します。
インポートを行う NAS のファームウェアバージョンが対応していることを確認してください。インポート機能の対応機種は以下の通りです。
・弊社製 HDL-GT/HDL-GTR シリーズ　FW Ver.1.31 以降
※ファームウェアバージョンが異なると設定情報が正しく取得できない場合があります。
②[ホスト名] に、機器のホスト名を入力します。
③[パスワード] に、機器の管理者パスワードを入力します。
④ [OK] ボタンをクリックします。
→対象機器からの設定情報を取得が開始されます。
対象機器が見つからない場合、ホスト名に IP アドレスを入力するか、対象機器を再起動してください。ユーザー、グループ、共有フォルダーの数が多く情報取得に時間がかかる場合は、設定情報のインポートに失敗する場合があります。

3. 設定情報の取得を行っています。しばらくお待ちください。

※ [中止] ボタンをクリックすると、中止できます。

4. 設定情報の取得に成功すると、[保存先設定] 画面が開きます。

保存先を指定し、[OK] ボタンをクリックします。

[ファイルのパスワードロック] にチェックをつけると、ファイルロックパスワードを設定できます。

※ファイルロックパスワードは、4 ~ 15 文字以内で設定してください。

これで設定の保存は完了です。

設定情報を復元する

※設定情報の復元は初期導入時を想定しています。すでに設定がされている場合、設定情報が変更されますので、復元後に設定内容の確認を確実に行ってください。

※復元を行う際は、USB ロックキー (暗号化 RAID モードで使用されていた、もしくは暗号化 RAID モードに復元する場合) 以外の外付けボリューム（USB ポートや e-SATA ポートに接続したハードディスクなど）を取り外しておく必要があります。

※ HDL-XR シリーズから HDL-XR シリーズへの復元など、同じ機器からの復元であっても、環境の違いにより復元できない場合があります。

1.

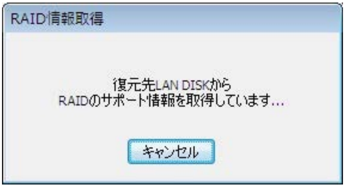
アイコンをクリックし同一ネットワーク内にある対応 LAN DISK シリーズを検索します。

2. 復元先の対応 LAN DISK シリーズをリストから選び、[設定復元] アイコンをクリックします。

※［プロパティ］ウィンドウで IP アドレスや MAC アドレスの確認が行えます。

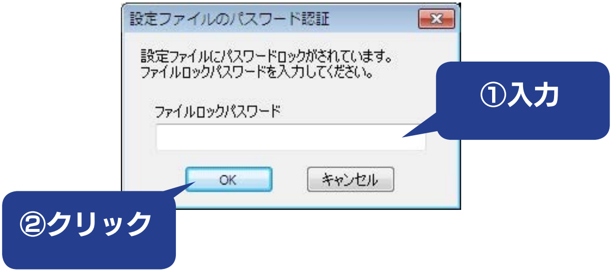
3. 対応 LAN DISK シリーズの管理者パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

4. 復元先の対応 LAN DISK から RAID 情報を取得しています。
しばらくお待ちください。



5. [参照] ボタンをクリックし、復元する設定ファイルを選び、[OK] ボタンをクリックします。

6. 設定保存でファイルロックパスワードを設定した場合は、[ファイルロックパスワード] を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



7. 復元したい項目を [復元する / 復元しない / 設定する] で設定し、[OK] ボタンをクリックします。

※ [設定する] を選択した場合は、項目内容を変更することができます。保存先と復元先の機器が異なる場合は、復元できない項目があります。また、ユーザーのパスワードはすべて再設定する必要があります。

※RAIDモードを［復元する］/［設定する］に設定した場合は、RAID の再構築が始まります。その場合対応 LAN DISK に保存されていたデータはすべて失われます。あらかじめ、データをバックアップしてから RAID 構成を変更するか、初期状態から構成変更してください。

※ホスト名やワークグループ名に [設定する] を選択し新たな名称を設定する場合は、対応 LAN DISK の設定の設定可能な文字列を入力してください。入力された文字列が不正な場合は、復元に失敗します。

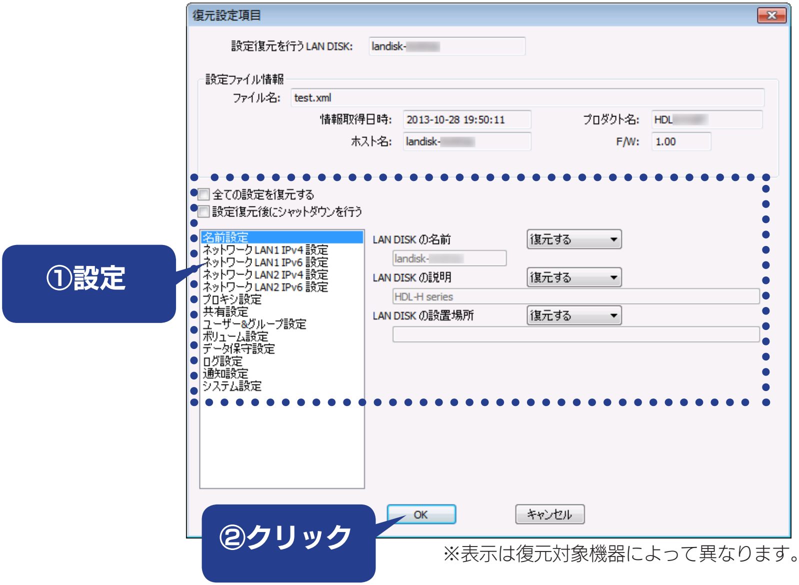
※ 以前のバージョンの LAN DISK Restore で設定保存したデータはレプリケーションの複数フォルダーに対応していないため、新バージョンでの LAN DISK Restore での情報の再取得をおすすめします。

※保存先の設定が復元先の設定に存在しない組み合わせの場合は、共通設定項目のみ復元されます。

●参考

共有フォルダーを［復元しない］に設定した場合、データ移行時に共有フォルダーを手動で作成する必要があります。

共有フォルダーを [復元しない] に設定し、バックアップやシステム設定を [復元する] に設定した場合、バックアップやレプリケーション、クイックコピー先のフォルダーが存在せずバックアップなどの処理が失敗することがあります。バックアップやシステム設定を [復元する] 場合は、共有フォルダーも併せて復元することをおすすめします。



※表示は復元対象機器によって異なります。

8. 復元設定を確認し、問題なければ [OK] ボタンをクリックします。

→復元が開始されます。

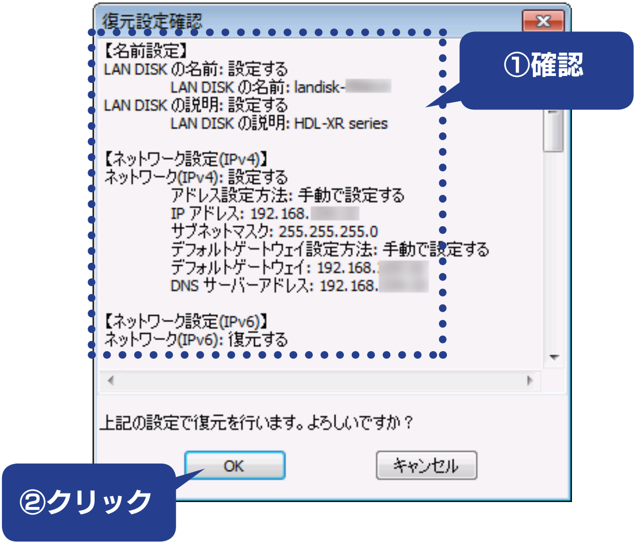
手順 9 のウィンドウが表示されるまで、しばらくお待ちください。

環境によっては、時間が掛かる場合があります。

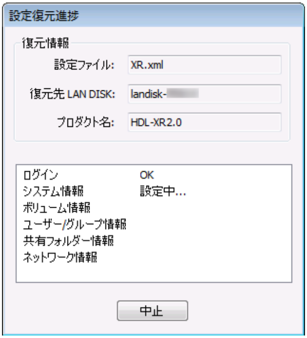
※ RAID モードを「暗号化 RAID5」または「暗号化 RAID6」に復元 / 設定する場合は、復元を実行する前に設定を行う LAN DISK に USB ロックキーを接続しておく必要があります。

※ RAID モードに「復元する / 設定する」を選択した場合は、ディスクがフォーマットされます。共有フォルダやデータが削除されますので注意してください。

※設定取得元の LAN DISK が同一ネットワーク内に存在する場合は、ホスト名、IP アドレスが重複しないように注意してください。



9. 復元が開始されると、「設定復元進捗」画面が表示されます。
しばらくお待ちください。
※ [中止] ボタンをクリックすると、中止できます。



10. 設定の完了後に、以下のウィンドウが表示されますのでご確認ください。

復元成功

設定画面より復元された設定を確認してください。

復元失敗

設定画面よりログのエラー内容を確認してください。

※ログが残っていない場合はネットワーク通信に異常がないことを確認してください。

データを移行する

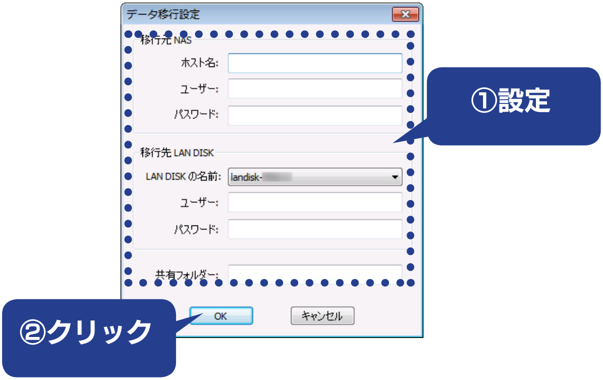
1. アイコンをクリックし同一ネットワーク内にある LAN DISK シリーズを検索します。

●参考
データを移行する前に、移行先対応 LAN DISK に十分な空き容量があることを確認してください。特に使用量設定を行っている場合はご注意ください。

2. データ移行先の対応 LAN DISK シリーズをリストから選び、[データ移行] アイコンをクリックします。

3. データの移行元、移行先および共有フォルダー名の情報を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

●ご注意
移行先の対応 LAN DISK シリーズには移行元と同じ名前の共有フォルダーが必要です。



すでにデータ移行元もしくは移行先ホストに接続されている場合、OS の仕様によりエラーが表示される場合があります。
この場合、コマンドプロンプト※を起動し、以下のコマンドを入力して接続を切断してください。

```
net use * /delete
```

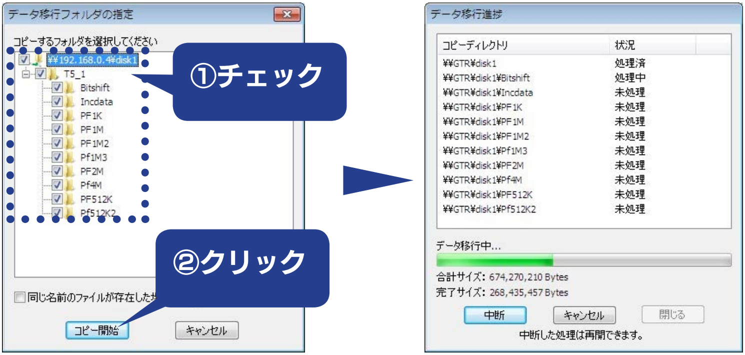
Y（「この操作を続行しますか？（Y/N) [N]:」で Y を入力します）

※ Windows XP の例
[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト]

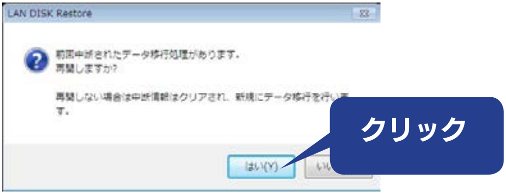
上記コマンドを実行しても解消しない場合、いったん Windows からログオフし、ログオンし直してから再度「データ移行」を実行してください。

4. コピーするフォルダーにチェックを付け、[コピー開始] をクリックします。

→コピーを開始します。

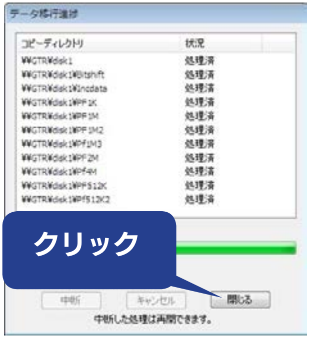


データ移行を中断した場合、再開することができます。
再開する場合は、再度「データ移行」アイコンをクリックし、以下の画面で［はい］ボタンをクリックしてください。



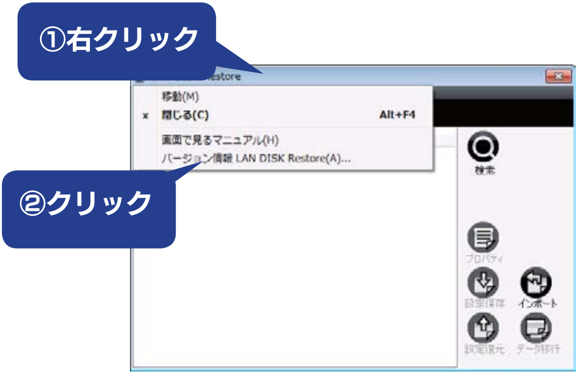
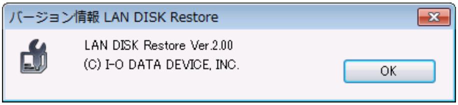
5. 右の画面が表示されたら、

[閉じる] ボタンをクリックします。



これで完了です。

バージョンの確認方法

1．LAN DISK Restore のメインウィンドウのタイトルバーを右クリックします。

2.［バージョン情報］をクリックします。